

文化情報誌 [ ワカフ ]

# Wacaf

vol. 12  
2005  
3.4月号

【発行】  
財団法人和歌山県文化振興財団

感動空間 ♥ 文化で元気!!

Topics

トピックス



松永貴志  
ピアノトリオ  
JAZZライブ

3月13日(日)  
開演 / 午後4時半  
(開場 / 午後4時)



表紙写真  
大門川周辺

(和歌山市)

桜の名所として知られる大門川の桜並木。菜の花と桜が一緒に咲き乱れ、ピンクとイエローの美しいコントラストを楽しませてくれます。

2 3 イベントスケジュール

4 エッセイ 桂 枝曾丸

5 インタビュー 松永貴志

6 きのくに芸術新人賞・きのくに技能奨励賞 受賞者紹介

7 夢あふれる子どもたち

17歳でプロデビューを果たした天才ジャズピアニスト

## 松永貴志

### ピアノトリオJAZZライブ

3月13日(日)

開演 / 午後4時半(開場 / 午後4時)

場所 / 県民文化会館(大ホール)

入場料金 / 全席指定 3200円

発売中 友の会・学生・団体割引あり 未就学児入場不可

2003年5月、プロのジャズピアニストとしてCDデビューを果たした松永貴志のトリオジャズライブ(松永貴志/Pf+B+Drs)を開催します。

兵庫県芦屋市出身で、5歳の頃より独学でピアノとオルガンを始めたという彼。10歳にして Hammond B-3 を使用したオリジナルCD「SPAIN」を発表。13歳の時には、ジャズピアノの巨匠・ハンク・ジョーンズに「ずば抜けた演奏」と絶賛されたそうです。

15歳で「松永貴志プロデビューリサイタル」を実施。そして17歳の5月、現役の高校生ながらデビューアルバム「TAKASHI」を発表。ベストセラーとなり、各種メディアにも多数取り上げられました。その驚異的な演奏能力と卓越した曲作りで話題を呼んだのも束の間、わずか5ヶ月後に全曲オリジナルのセカンドアルバム「MOKO-MOKO」をリリース。しかもこのセカンドアルバムは、『STORM ZONE』というタイトルで、ジャズの名門レーベル「ブルーノート」から2004年2月に全米で発売。17歳で収録されたCDの発売は、同レーベル創設以来の史上最年少記録となりました。

その間、東北放送でDJ番組「松永貴志 放課後のJAZZ」がスタートし、多彩な魅力を発揮。グラミー賞



受賞アーティストであるボビー・マクファーリンと共演し、スイングジャーナル誌ジャズ・ディスク大賞「ニュー・スター賞」や、「咲くやこの花賞」(大阪市芸術文化賞)など数々の賞を受賞しました。また、テレビ朝日系「報道ステーション」のテーマ曲を作曲し、演奏も担当。その実力が幅広く知られることとなりました。

ステージ上で披露される天才的なリズム感、そして抜群のテクニック。誰もが驚くライブをぜひこの機会にご覧ください。

#### 豆知識

日本の代表的なジャズ雑誌である「スイングジャーナル」誌が、1967年に発足させたジャズ・ディスク大賞。レコード会社各社の自薦ノミネート作品を基にして、国内で該当年度中に発売されたCD・LP・ビデオを対象に同誌委託の「ジャズ・ディスク大賞選考委員」によって選出、日本ジャズ界に貢献した作品に贈られるものです。

#### 第33回

## 和歌山県新人演奏会

### ～オーディション参加者募集～

【日時】平成17年6月12日(日)午後1時開演

【場所】和歌山県民文化会館 大ホール

【入場料】無料(公開)

【応募資格】平成15年度(平成16年3月)、平成16年度(平成17年3月)に大学院、大学、短期大学、専門学校を卒業した、次に掲げる何れかの方  
 本県出身者又は県内の上記学校卒業生  
 本県に在住又は勤務している方

【結果発表】オーディション審査後、当日発表。後日、郵送でも通知。また希望の方には結果発表後、選考委員からの講評あり

和歌山県文化振興財団が、平成17年9月19日(祝)午後1時から、和歌山県民文化会館大ホールで開催する「第33回和歌山県新人演奏会」。この催しは、音楽を学んだ若者を広く県民に紹介すると共に、和歌山県の音楽文化の振興を図るため毎年行っているものです。

【演奏時間】7分以内(演奏時間の長さについては審査の対象外)

【曲目】自由(原則として各部門とも本演奏会で演奏する曲を含むこと)

【演奏部門】クラシック部門 &lt;声楽・器楽・作曲・邦楽&gt;

作曲の場合は、楽譜も提出して下さい(返却しません)

主催者で用意する楽器は、ピアノ(スタインウェイ)だけです

【締め切り】平成17年5月12日(木)

【申し込み】所定の申し込み用紙が必要

詳しくは

財団法人 和歌山県文化振興財団 企画課 和歌山県新人演奏会係まで TEL073-436-1331(内線123)

2005

6月  
JUNE

美と歴史へあなたをご招待

## 第30回 歌舞伎鑑賞教室

片岡我當らによる、歌舞伎の入門講座と上演。見どころ、音楽、歴史などをわかりやすく解説した後、「野崎村」が披露されます。



世界に羽ばたくオペラの大スター

## 佐藤しのぶ ソプラノ・リサイタル

日本が世界に誇るプリマドンナ・佐藤しのぶが、N響アンサンブルとともにお届けするドラマティックコンサートです。



2005

7月  
JULY

甘いマスクと叙情的な演奏が魅力

## ミシュク ロマンティック・ピアノ

実力派ピアニストとして世界中から評価されているミシュクのピアノコンサート。ショパンの名曲を奏でます。



2005

9月  
SEPTEMBER

若手音楽家たちが音色を響かせる

## 第33回和歌山県新人演奏会

大学や大学院などで音楽を学んだ若人を紹介する新人演奏会。声楽、器楽、作曲、邦楽など、さまざまなジャンルが集結します。



伝統に裏付けされた質の高いオペラ

## ボヘミア・オペラ「カルメン」

1865年創立の歴史と伝統に彩られたチェコ国立ブルゼーニュ歌劇場がやってきます。チェコ国内でも指折りの質の高さを誇り、毎年数々の新作を発表するなど精力的な活動を続けています。熟練のソリスト陣、美しく迫力あるコーラス、しなやかなオーケストラと、三拍子そろうたオペラをお楽しみください。



日程、内容等変更される場合があります。ご了承ください。

2005

12月  
DECEMBER

世界中で愛されるミュージカル

## ブロードウェイ ミュージカルカンパニー

オーケストラ、歌手、ダンサーたちを交えて繰り広げる魅惑のミュージカルハイライト。「コーラスライン」「マイ・フェア・レディ」「サウンド・オブ・ミュージック」などミュージカルの名曲を集めて行う心暖まるコンサートです。



清らかに響く弦の調べ

## クリスマス/3大アヴェ・マリア

世界的に有名なボリショイ劇場からやって来る音楽の使者たち。クリスマスにちなんだ数々の名曲を、歌手を交えて演奏します。



2006

1月  
JANUARY

軽やかな指先が奏でる世界の名曲

## エリック・ベルショ ピアノエレガンス

フランス屈指の名ピアニストによる美しいメロディの数々。映画音楽やポップス、クラシックに至るまで、そのテクニックに酔いしれることでしょう。



目の前で展開する熱い舞台

## 劇団四季 和歌山公演 (演目未定)

愛と感動のステージを魅せてくれる「劇団四季」がやってきます。昨年は「ジーザス・クライスト=スーパースター〜エルサレム・バージョン」を上演。年間約2800ステージをこなし、定評あるそのステージをぜひ生でご覧ください。



「ジーザス・クライスト=スーパースター〜エルサレム・バージョン」過去の上演演目より

2006

2月  
FEBRUARY

日本が生んだ伝説的鬼才

## ソニコ・マージュ ギターコンサート

20世紀が生んだ2人の巨匠、セゴビアとユパンキに学び、その精神を語り継ぐフォルクローレ奏者。インディオ魂がよみがえる!



## プレイガイド

和歌山県民文化会館	☎073(436)1331
宮井平安堂	☎073(431)1331
近鉄カルチャーセンター	☎073(421)7123
カインレコード	☎073(483)5039
粉河ふるさとセンター	☎0736(73)3312
かつらぎ総合文化会館	☎0736(22)0303
県立橋本体育館	☎0736(32)9660
御坊市民文化会館	☎0738(23)4881
紀南文化会館	☎0739(25)3033
ローソンチケット	☎0570(00)0403 (電話予約)

一部お取り扱いのないものもあります

ホームページからも  
チケット購入OK!

<http://www.wacaf.or.jp>

「Wacaf」主催公演  
情報をはじめ、県民文化  
会館や片男波公園の施  
設情報、イベント情報な  
どが満載。また主催イ  
ベント情報のメール配信  
も随時。公演チケットの  
購入、友の会入会申し込  
みもWEB上でできるよ  
うになりました。

携帯電話  
からもOK!

### 主催公演チケット申し込み手順

<http://www.wacaf.or.jp>へアクセス

[主催イベント一覧]を選択

イベント・申し込み席数の選択

確認・送信

送信確認メールが届きます

後日、事務局より確認の連絡があります

確認終了後、支払期日・方法などをお知らせします

お支払い・チケット購入終了

ESSAY

# 方言は我らの宝物! もっと和歌山を好きにならっ!

落語家 二代目 桂 枝曾丸



## Profile プロフィール

1968年9月12日和歌山市生まれ。1985年桂小文枝(現文枝)に入門。1998年に二代目桂枝曾丸を襲名。99年から漫画家マエオカ氏との競作「和歌山弁落語」を手掛け、全国で公演。テレビやラジオで活躍するほか、CD「和歌山弁落語集2」を3月13日に県内のCDショップで一斉発売。3月12日(土)午後4時~ぶらくり丁商店街「AOI」前で発売記念キャンペーンを開催予定。

どこの土地でもその土地の匂いがあります。ターミナルに降り立った時に深呼吸をすると、不思議とそれぞれ匂いが違ってきます。小生、和歌山で生まれ育ち、現在和歌山で住んでいるせい、なじみすぎているせい、ここ最近和歌山の匂いというものを感じなくなっています。しかし他県で住んでいた時、たまに地元に戻ってくるとその匂いを敏感に感じていました。

単に「ニオイ」じゃなく、五感が感じる「故郷の体臭」なんでしょうね。

『和歌山弁落語』まだ知らない人もたくさんいるでしょう! 私と同郷の漫画家マエオカテツヤ氏との創作落語であります。地元和歌山市周辺で中高年女性が今もなお使っている「和歌山弁」で全編つづられており、高座に上がる私もおばちゃんの格好。5年前、初めて地元での独演会で発表して以来、毎年新作のネタ下ろしをさせていただくのが定番になっております。

普段使ってる方言で織り成す落語に、当初はお客様も



びっくり、演じる私も探りながらでしたが、最近では生活の中にある言葉の“おかしさ”“みたいなものが”芸”として形にできてきたことで、落語の本来あるべき姿である、大衆に受け込めたのではないかと自負しています。それが和歌山で! 現在は和歌山は元より、他府県でもこの和歌山弁落語を演じる機会に恵まれております。お客様の中には「高座から飛び出す世界に、和歌山へ旅行に行ったようだ」とおっしゃってくださった方もいらっしゃいました。方言の持つ魅力、それは“歴史”“風土”が詰まった正しい“ニオイ”なんです。

数年前、アルゼンチンへ移住された方に、和歌山弁落語を届ける旅に出ました。びっくりしたのが笑い声に交じって涙ぐんでる方がいたりして、方言の持つ力を実感しました。遊び心ではじめたこの『和歌山弁落語』ですが、今では私にとりましてかけがえのないもの。和歌山の温かさをこれからもどこまでも届けて行きたいと思えます。

春の訪れを祝うフルートとピアノのミニコンサート

## 早春を彩るフルートコンサート

3月4日(金)

開演 / 午後7時(開場 / 午後6時半)

場所 / 和歌山ビッグ愛1階大ホール(和歌山市手平)

入場無料(定員200人)

整理券は県民文化会館、和歌山ビッグ愛で配布中。  
ただし定員になり次第、締め切ります

フルートとピアノが織りなす春の調べを心ゆくまで。3月4日(金)午後7時から、和歌山ビッグ愛大ホールで、「早春を彩るフルートコンサート」を開催します。メインのフルートは、和歌山出身の増井里衣さん。「一瞬の輝きにこめて音楽を伝えたい」との想いから和歌山での音楽活動を開始し、今回のコンサートでも素晴らしいフルートの音色を披露してくれます。



フルート 増井里衣さん

和歌山県出身。13歳より独学でフルートを始める。神戸山手女子高等学校音楽科卒業。中野幸代に師事。在学中、全日本学生音楽コンクール高校生の部を始め数々のコンクールに入賞・入賞。2003年相愛大学音楽学部器楽学科音楽器専攻卒業。第31回和歌山県新人演奏会出場。アオスタ音楽院・ローマ芸術アカデミー参加。2004年下津音楽愛好家「ムジーク」主催・ハートフルコンサートなど、各地で室内楽・ソロ活動を展開。現在、相愛大学音楽専攻科在学。



伴奏(ピアノ)  
石路千夏さん

ピアノ伴奏は石路千夏さん。アルルの女より「メヌエット」、「シランクス」、「コンチェルティーノ」など、春の香りをプログラムに織り込んで、早春のひとときを楽しませてくれます。



## 僕の演奏で、 ジャズファンが さらに増えるように 頑張りたい!



### 松永貴志 Profile プロフィール

1986年兵庫芦屋市出身。5歳の頃より独学でピアノ、オルガン始める。17歳の時にCD「TAKASHI」を発表、ベストセラーに。テレビ朝日系「報道ステーション」のオープニングテーマ曲を作曲し、自らも演奏した。

3月13日(日)県民文化会館で「松永貴志ピアノトリオ JAZZライブ」(2面参照)を開催します。そのライブの前に、天才ジャズピアニストと呼ばれる松永貴志さんにインタビューしました。

#### Q ピアノを始めたきっかけは?

小さい頃からお父さんにライブハウスやコンサートに連れられることが多く、そこで興味を持ち始めました。

#### Q ジャズピアノの魅力とは?

自分自身を最大限に表現できるところでしょうか。

#### Q わずか17歳で全米・ヨーロッパ・アジアでCDデビューされました。その時の感想は?

全世界で活動したいと思っていましたので、その目標の第一歩を踏み出すことができたという感じですね。

#### Q 和歌山の思い出は?

遊びに行ったことはないのですが、昨年コンサートで

和歌山に行ったとき、たくさんのお客さんに来てもらい、大変嬉しく思いました。

#### Q 今後の目標をお聞かせください。

世界中で演奏活動を行い、世界一のピアニストになりたいですね。

#### Q 和歌山公演への意気込み、ファンへのメッセージを。

和歌山県民文化会館はとても大きな会場なので、1人でも多くの方に見に来ていただきたいと思っています。僕の演奏で、和歌山にもっともっとジャズファンが増えるように頑張ります。

## クローズアップ サークル Close up Circle

### 和歌山洋舞協会 レニングラード国立バレエ「眠りの森の美女」公演に 地元和歌山の子どもたちが出演!

去る2月6日、和歌山県民文化会館でレニングラード国立バレエ団による「眠りの森の美女」の公演が行われました。その舞台に、和歌山洋舞協会に所属する子どもたちが出演。同協会の藤原晴子さんに、公演に出演した子どもたちの様子や感想をお伺いしました。

出演したのは、協会所属でクラシックを指導している3団体(中沼洋子・利花バレエアート、かつらぎバレエ研究所、ダンスシャワーギャザリング)の子どもたち27人。藤原さんは「世界一流のアーティストと一緒に舞台を踏み、バックステージでの生のバレリーナ姿が新鮮で、子どもたちとともども、バレリーナの容姿やスタイルの美しさに夢のようでした。子どもたちはカツラをつけるのが初めてだったので、お互いの変身具合の

感想を言いあったりして楽しそうでした」と話してくれました。また、どのアーティストも子どもたちに対しては優しく接していたとか。「カワイイ」「キレイ」と日本語で気軽に話しかけ、楽屋裏はとてもいい雰囲気にも包まれていたそうです。

「バレリーナたちと一緒にリハーサルは当日だけしなく、時間が短かったので心配でしたが、総じてみんな頑張ってくれたと思います」と藤原さん。和歌山洋舞協会の長い歴史の中でも、このような貴重な体験は初めてだったそうです。「もっと一緒に踊りたかった...それが一番の感想ですね。めったにできない経験ができて本当に良かったと思っています。またこのようなチャンスがあればいいですね」



## きのくに芸術新人賞・きのくに技能奨励賞 受賞者紹介

平成16年度のきのくに芸術新人賞・きのくに技能奨励賞の受賞者4人が発表されました。

チェンバロ奏者・野澤知子さんのコメントを紹介するとともに、今後本誌でほか3人の記事を掲載する予定です。

### バロック時代の宮廷文化を彩るチェンバロ その魅力を多くの人に知ってもらいたい

#### きのくに芸術新人賞

のざわともこ  
チェンバロ奏者 野澤知子さん

昭和48年、打田町生まれ。東京都在住。4歳の頃からピアノを始め、高校卒業後、留学先の英国王立音楽院で、鍵盤楽器チェンバロと出会う。東京芸術大学古楽科で学び、平成15年、日本で唯一の古楽コンクール「チェンバロ」部門で優勝。現在はフランス国立ストラスブルグ音楽院に在籍し、ヨーロッパや日本で演奏活動を行っている。



その音色を聴くだけで、バロック時代(17世紀初頭～18世紀中葉)をイメージさせる鍵盤楽器チェンバロ。18世紀以降、ピアノの台頭と共に人々の記憶から薄らぎましたが、近年、古楽演奏などには欠かせない存在として注目を浴びています。チェンバロの魅力を野澤さんは「古い楽器なのですが、初めて聴いたとき、美しい音色に新鮮さを感じました。また音楽だけにとどまらず、背景にはヨーロッパの絵画や宮廷文化にもつながっていることを知り、次第に興味がふくらんでいったのです」と語ります。

現在はフランスでチェンバロをさらに勉強中の野澤さん。「日本人の私がチェンバロを演奏するという事は、かなりの驚きがあるようです。歌舞伎を外国人が演じるようなものでしょうか」とのこと。「初めてチェンバロと出会った時のフレッシュな感覚を大切にして、演奏会を通してチェンバロの魅力をもっと広めたいですね。また私自身、西洋文化を勉強し、もっと知りたいと思っています」

#### きのくに芸術新人賞

たままき  
バルーンアーティスト 玉置あかりさん



昭和45年和歌山市生まれ。和歌山市在住。96年にバルーンアートと出会い、東京のスクールで基礎を学ぶ。以後、意欲的にバルーンアート活動を続け、技術を磨く。02年バルーンアート全国大会(JBAN convention)「フィギア」部門で優勝。さらに04年バルーンアート世界大会(IBACアメリカ世界大会)の制限時間12分で自由な作品を創作する「フィギア」部門で優勝を果たす。現在、県内を中心にバルーンアートを贈る「バルーンギフト」を行うなど、バルーンアート普及に努めている。

#### きのくに技能奨励賞

いけじましろう  
紀州雛(蒔絵師) 池島史郎さん



昭和31年海南市生まれ。海南市在住。氏の祖父にあたる寺下幸司郎氏が海南の新しいお土産物にと昭和初期に紀州雛を考案。紀州雛の伝統技術を継承し、3代目を受け継ぐ。紀州雛の製作に励み約19年、手作業で一つひとつ丁寧に作り上げるため、年間生産量は約800対。漆塗りの雛人形は全国的にも珍しく、紀州漆器の生産で知られる海南市「黒江地区」で紀州雛を製作している蒔絵師は池島氏だけ。04年県郷土伝統工芸品に指定され、海南市の名品として定着する。

たなかのりこ  
工芸(染織) 田中紀子さん



昭和20年みなべ町生まれ。みなべ町在住。慶応義塾大学文学部卒業後、成安女子短期大学意匠科で工芸を学び、染織工芸作家の潮隆雄氏に師事。77年、日展で初入選し、以降26回も入選を果たす。99年の第31回日展では特選を受賞。現在、日本各地で作品展を開催しながら、海外の展覧会にも意欲的に出品。日本でも有数の染織家として活躍中。現近畿大学文学部染織コースの講師ほか、和歌山県展の審査員として県内の美術文化向上のため、後進の育成にも尽力している。

## 和歌山の昔話

### 障子林

打田町神通の庄司家に伝わるお話。江戸時代、紀州の殿様が、大勢の家来を従えて犬鳴山へ狩に来ました。たくさんの獲物を手に山を下りる途中、神通のある家に立ち寄って一休みしました。

ここで家の主人から、栗の木谷というところに大蛇が住んでいると聞いた殿様は、いやがる主人に案内をさせて栗の木谷へ向かいました。薄暗い中、突然馬が暴れ出したかと思うと、身丈が20mもあるかという大蛇が現れました。馬から落ちた殿

様は気を失い、家来たちは殿様を置いて我先にと逃げてしまったのです。

案内してきた主人は殿様を背負って帰り、手厚く看病し、まもなく殿様は元気になりました。殿様は主人に褒美をやらうと言いい、主人は「この障子の穴から見えるだけの山をください」と答えました。障子の穴は小さくても、そこから見える山は何十ヘクタールもあります。主人は村一番の長者になり、姓を障子にちなんで「庄司」に変えて一生を幸せに送ったそうです。



参考文献 / かたりつくわがやまの民話(和歌山県老人クラブ連合会)  
絵 / 西原加奈子 協力 / 和歌山絵本の会

夢あふれる  
子どもたち

やっこ  
響け！みんなの黒潮躍虎太鼓  
和歌山市立新南小学校4年生

体育館に響く太鼓の音。寒さが厳しい1月、新南小学校では今年も4年生による「黒潮躍虎太鼓」の練習が始まりました。指導にあたるのは、郷土芸能を後世に残そうと国内外で活躍する「黒潮躍虎太鼓」のリーダー、宇治田良一さん。今年で5年目を迎え、同校では4年生の「総合的な学習の時間」の取り組みとしてすっかり定着しました。



練習を楽しみにしている子どもたちは、いつも率先して準備を進めるそうです。

「伝統文化を肌で感じられることと、そしてみんなが気持ちを一つにして取り組めること、太鼓を通していい経験がたくさんできます」と話す担任の尾崎文則教諭。拍子の取り方が子どもたちには難しいようですが、みんなが力いっぱいたたき音が一つになる瞬間、聴く人たちの心に深い感動を与えます。3月初旬、6年生を送る「お別れ集会」で練習の成果を披露します。



全員が演奏できるようにと、先生が竹を切り取ってきて作った“竹太鼓”を使用。

文人をたどる心の旅

西村記念館(旧西村家住宅)



教育改革や住宅改良などに先駆的役割を果たした住宅作家・西村伊作

住宅作家・西村伊作

大正期のライフスタイルに大きな影響を与え、「生活」を「芸術」としてとらえたモダニスト・西村伊作(1884年～1963年)。当時「陸の孤島」と呼ばれていた新宮に在ながら、写真機をいじり、絵画を描き、建物を設計し、庭を造り...日常生活の中にいち早く近代化を取り入れ、「美しい生活」を実践した和歌山ゆかりの人です。

同記念館は伊作の自邸であり、彼の思い描く住宅思想の出発点となった作品。地元新宮の気候風土に配慮した軒回りの造作が特徴的で、「芸術」と「生活」の調和を目指し、自由で束縛のないライフスタイルを構想した西村伊作の作風の一端がうかがわれます。



西村伊作自身が設計した自宅が記念館として公開されています

DATA

新宮市伊佐田7657  
 ○0735-22-6570  
 ○午前10時～午後4時(正午～午後1時休館)  
 ○月曜・木曜・祝日  
 Z大人100円

和歌山県民文化会館ご利用の案内

和歌山県民文化会館には、18名から120名まで収容できる会議室などがあり、会議や打ち合わせ、集会など用途に合わせてお使いいただけます。ご利用についてはお気軽にお問い合わせください。



大会議室(5F)



401～407会議室(4F)



特別会議室(6F)

- 開館時間 午前9時～午後9時30分
- 休館日 毎月第3火曜日(ただし、その日が国民の祝日・休日にあたる場合は、その翌日に振替)、12月28日～翌年1月4日(年末・年始休館)
- 申込受付時間 午前9時～午後9時30分
- 申込受付期間 利用日の1年前から受付

◆会議室利用料

(単位:円)

会議室	9～12	13～17	17:30～21:30	9～17	13～21:30	9～21:30
特設会議室(120人)	11,650	16,480	23,730	24,150	32,550	39,480
大会議室(80人)	8,710	13,440	16,900	17,430	23,730	28,140
中会議室(50人)	5,040	8,710	10,810	11,020	14,800	18,270
401～407・501・502 会議室(30人)	3,670	5,460	7,030	7,660	10,810	13,120
408～411・503・504 会議室(18人)	1,570	2,310	2,940	3,670	4,510	5,460
和室(茶室)	2,940	4,510	5,460	6,090	8,710	11,020
特別会議室(18人)	8,400	12,600	15,750	16,800	23,100	27,300

【お問い合わせ】TEL.073(436)1331  
和歌山県民文化会館管理業務課

ワカフ  
Wacaf  
感動空間 ♥ 文化で元気!!

「Wacaf(ワカフ)」とは、和歌山県文化振興財団(Wakayama Culture and Arts Foundation)の英字標記からとった当財団の名称で、文化芸術の素晴らしさをより多くの皆さまに知っていただくために使用しています。この文化情報誌も同じ「Wacaf」としました。イベント開催時ののぼりにも掲げているテーマ「感動空間 ♥ 文化で元気!!」には、「感動空間=心、みんなで文化に親しみ、共に元気になりましょう!」という意味があります。

紀の国先人展

紀の国が生んだ文化・スポーツの先人たち

場所 / 和歌山県立図書館2階文化情報センター内  
時間 / 火曜～金曜:午前10時～午後7時、  
土曜・日曜:午前10時～午後6時  
休館 / 月曜(祝日のときは翌日も休館)  
入場無料(臨時休館日があるのでご注意ください)  
休館日のお問い合わせはT 073-436-9530

世界遺産に登録された「高野・熊野」をはじめ、和歌山には美しい自然や風土、素晴らしい歴史や文化が数多くあります。このような環境の中で生まれた先人たちは、和歌山そして日本、あるいは世界を舞台に輝かしい業績を残しました。現在、和歌山県立図書館2階文化情報センター内で常設されている「紀の国先人展」では、そうした先人たちの生き様を紹介。先人たちの歩みから、私たちの未来に活かしていくため、さらに深く学べます。

【展示に関するお問い合わせ】

県文化国際課 T 073-441-2052



紀の国先人紹介

文化・スポーツをテーマにした先人たち一人ひとりのプロフィールとそれに関わる展示物を紹介



紀の国先人シアター

郷土・和歌山が育んだ先人たちを映像で紹介

展示されている先人紹介

有吉佐和子	郷土和歌山をテーマに名作を残した作家
沖野岩三郎	敬けんな牧師であり、大逆事件を小説に著した作家
川合 小梅	幕末・明治の社会変革を日記に綴った女性
京山小円嬢	女流浪曲三羽ガラスの一人、浪曲界の華
阪中 正夫	紀州の方言を巧みに活かした改造賞受賞劇作家
佐藤 春夫	ふるさとをこよなく愛した望郷の詩人
高川 格	暮の神童、本因坊戦九連覇を達成した二十二世本因坊
中上 健次	熊野の再生を目指した行動する作家
東 くめ	日本で初めての口語体童謡「鳩ぼっぼ」の作詞者
山本 玄峰	象徴天皇を鋭く示唆した高僧
植芝 盛平	合気道の創始者
栗本 義彦	戦後日本のスポーツ振興に尽くした体育指導員
嶋 清一	戦場に散った不世出の名左腕
中村覚之助	日本サッカーの生みの親
西田 修平	生涯を日本陸上競技界に尽くした友情のメダリスト
兵藤 秀子	日本女性初めてのオリンピック金メダリスト
古川 勝	戦後初めてのオリンピック金メダリスト
和田 勇	東京にオリンピックを招致した日系二世の実業家
華岡 青洲	世界で初めて全身麻酔手術に成功した医聖
南方 熊楠	世界の字者を振り向かせた博物学の巨星

県民文化会館友の会  
運営方法変更のご案内

本年で32年目を迎える「和歌山県民文化会館友の会」。平成17年4月1日から、会費を無料としボランティア制度を導入するなど、県民参加の会館を創ることを目的として運営方法を変更します。不明な点がございましたら、T 073(436)1331 友の会事務局まで。

平成18年3月31日まで有効期限がある会員には所定の催しについて割引を適用します

平成17年4月1日から入会される方は新会則を適用します

特典内容

	変更後 H17.4.1(以降)	変更前	
入退会	随時	随時	
期限	無	一年間	
会費	無料	一般会費 2000円	
特典	入場券割引	無	有
	優先予約	有	有
	提携ホテル及び提携映画館等での割引	有	有
	行事予定表の送付	2カ月毎	1カ月毎
ボランティア制度 (詳細については検討中)	有	無	



The Avalorm Wedding  
ART 2005

「見る」「聴く」「味わう」の全てのウエディングを体験

2005|3|20|sun

The Avalorm Wedding Tour The Avalorm Wedding Show

ウエディング相談会 2005.4.24 sun 11:00▶17:00  
2005.5.8 sun

